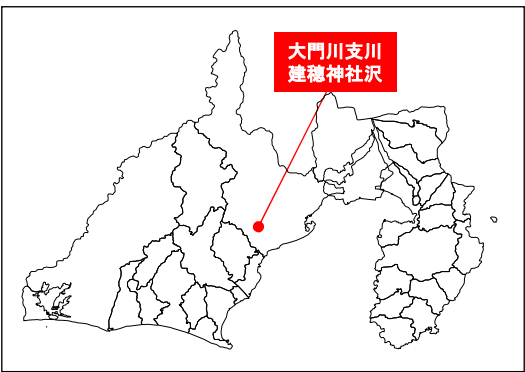
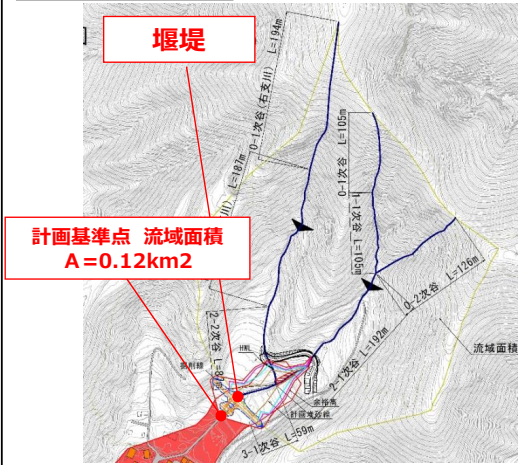


番号	8	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																																		
事業名	通常砂防事業				事業主体	静岡県																																			
箇所名	だいもんがわしせんたきょうじんじやさわ 大門川支川建穂神社沢				関係市町	静岡市																																			
事業採択年度	令和 4 年度		計画期間	令和4年度 ～ 令和13年度																																					
用地着手年度	令和 8 年度		工事着手年度	令和 10 年度																																					
再評価理由※	事業採択(R4)後5年が経過																																								
全体事業費	百万円 321	投資状況 (百万円)	～R6年度 47	R7年度 14	R8年度見込 10	計 71																																			
事業概要	(1)事業目的 大門川支川建穂神社沢（静岡市葵区建穂）は静岡県の中部に位置し、保全対象として人家242戸、市道を含む土石流危険渓流である。 溪岸浸食により溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。 (2)事業内容 砂防堰堤工 1 基																																								
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成29年度からこれまでに110件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。 ・被害想定区域を含む地区住民にアンケートを実施したところ、回答者24人中21人が「事業を継続する必要がある」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望も強い。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 8 年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>80.3</td><td>136.4</td><td>184.2</td><td>53.2%</td></tr></table> ・総便益 (B) 208.9 億円 (平均便益：12.5億円) ・総費用 (C) 2.6 億円 (建設費：2.44億円、維持管理費：0.16億円、用地残存価値：0.13億円) ○見込まれる効果（定性的な効果） ・土石流による甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況 (令和 8 年度見込み) <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>22.1%</td><td colspan="2">(71 百万円 / 321 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>砂防堰堤工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 6.5 m)</td></tr><tr><td>前庭保護工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 20 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m² / 17,000 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	80.3	136.4	184.2	53.2%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		22.1%	(71 百万円 / 321 百万円)		事業量	砂防堰堤工	0.0%	(0 m / 6.5 m)		前庭保護工	0.0%	(0 m / 20 m)		用地取得		0.0%	(0 m ² / 17,000 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																						
80.3	136.4	184.2	53.2%																																						
区 分		進捗率	内 訳																																						
事業費		22.1%	(71 百万円 / 321 百万円)																																						
事業量	砂防堰堤工	0.0%	(0 m / 6.5 m)																																						
	前庭保護工	0.0%	(0 m / 20 m)																																						
用地取得		0.0%	(0 m ² / 17,000 m ²)																																						
評価	継続が妥当																																								
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	・令和4年度にも土砂災害が発生しており、地元住民からの注目・期待も大きいことから引き続き事業を継続する。 ・設計、用地測量が完了し、用地買収が完了次第、工事に着手することができる。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																																
評価	継続が妥当																																								
【視点3】 新たなコスト 縮減・代替案 立案等 の可能性	活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト縮減と工期短縮を図っていく。																																								
対応方針 (案)	(1)対応方針（案） 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 事業効果が高く、事業に対する地域の要望も大きいことから、事業を継続して整備の推進を図る。																																								

1. 位置図

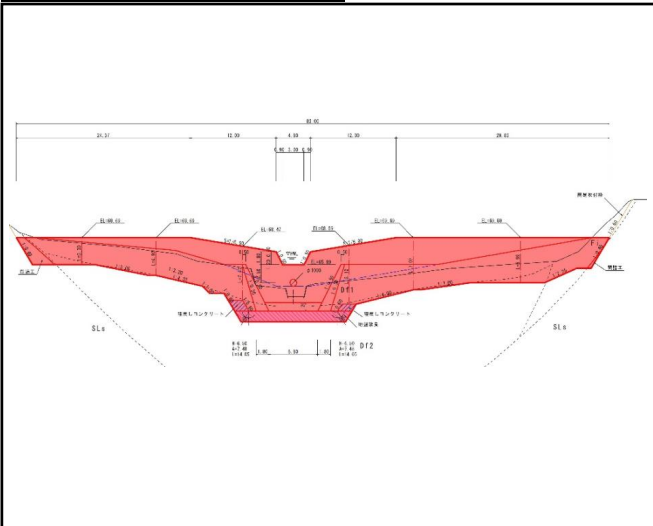


流域図



2. 事業概要

正面図



事業目的

大門川支川建穂神社沢は静岡県の中部に位置し、保全対象として人家242戸を含む土石流危険渓流である。そのため、土石流が発生した場合、大規模な人的被害や物的被害が想定される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

事業内容

- ・溪流名 : 大門川支川建徳神社沢 (静岡市葵区建徳地先)
- ・計画期間 : 令和4年度～令和13年度
- ・事業費 : 321百万円
- ・事業量 : 砂防堰堤工 1基
堰堤 (不透型) 高さ6.5m、堤長83.0m、
計画捕捉量1,032m³

荒廃状況



下流状況

[illegible]

3. 大門川支川建穂神社沢の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	R4~R8	R4~R13 (+5年)	・本堤上流の付替道路について関係機関協議に不測の日時を要した ・所有者の特定が困難な未相続地が多く確認され、境界立会に時間を要した。
②全体事業費	250百万円	321百万円 (+71)	・人件費・資材及び土砂処分費高騰のため。

4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 208.9億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
 - ・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用 (C)

総費用 2.6億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):80.3 経済的内部収益率(EIRR):53.2%

前回の費用対効果(B/C):47.3

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト縮減と工期短縮を図っていく。